

多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備事業

基本設計が完了しました

設 計 の 概 要

基本設計では、施設の配置や規模、各階の構成、主な諸室の配置、構造・設備の基本的な考え方など、多目的屋内施設および公園基盤施設全体の骨格となる内容をまとめました。

今後の実施設計では、基本設計の内容をもとに、より詳細な設計を行い、実際に工事を行うために必要となる詳細な仕様や図面を具体化していきます。



基本設計のポイント

公園基盤施設

- 歩車分離および施設配置の検討による安全性・利便性の向上
- 既存樹木の保全への配慮

多目的屋内施設

- 豊橋公園の景観と調和する外観デザイン
- ユニバーサルデザイン
- 利用状況に応じてトイレの男女比を変更できる設計

皆さまの声を活かして検討を進めています

市民のみなさまの声を踏まえ、より利用しやすい施設となるよう検討を重ねました。
ここでは、主なものをご紹介します。



いただいた声	基本設計での対応
既存の樹木をできるだけ残してほしい	提案時よりさらに多くの既存樹木を保全するため、基本設計において駐車場の位置を変更するなど、できる限り既存樹木を活かすための工夫をしています。
子どもの遊び場を確保してほしい	乳幼児遊具、インクルーシブ遊具、シンボル遊具という異なる種類の遊具を設け、幅広い子どもたちが利用できる空間を整備します。

今 後 の 流 れ 予定 安全・安心を最優先に、着実に事業を進めていきます

多目的屋内施設 / 公園基盤施設 実施設計
令和８年度



より詳細な設計を行い工事の準備を進めていきます。

多目的屋内施設 / 公園基盤施設 建設工事
令和９～12年度



安全の確保に十分努めるとともに、周辺環境に配慮しながら工事を進めます。

多目的屋内施設 開業
令和11年度



多目的屋内施設は、令和11年10月からの開業を見据え、運営体制の構築や開業準備を進めていきます。

公園基盤施設 整備完了
令和12年度末



令和12年度末までにテニスコートを整備し、整備完了となります。

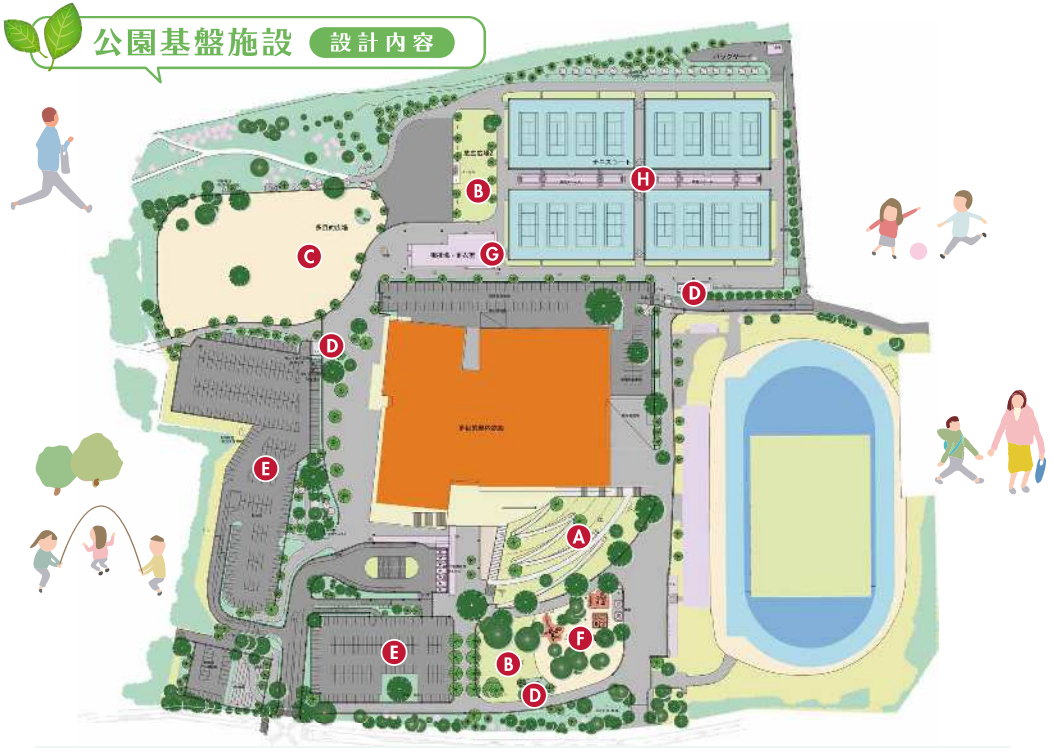
※掲載しているイメージや図面は基本設計時点のものであり、今後変更になる場合があります

多目的屋内施設及び
豊橋公園東側エリア整備事業

基本設計でここまで具体化しました

魅力にあふれ、いきいきと
にぎわいのあるまちへ

公園基盤施設 設計内容



Ⓐ 集いの丘
Ⓑ 芝生広場
Ⓒ 多目的広場
Ⓓ バリアフリートイレ
Ⓔ 第1・2駐車場
Ⓕ こども広場
Ⓖ 相撲場・更衣室
Ⓗ テニスコート16面

※掲載しているイメージや図面は基本設計時点のものであり、今後変更になる場合があります

今後も進捗をお知らせします。

豊橋市ホームページ

今後も実施設計や工事の進捗などを、
市ホームページ等で随時お知らせします。

お気づきの点がございましたら
ご意見はこちらから

アンケートフォーム

いただいたご意見は
本事業の改善に役立てていきます

多目的屋内施設 フロア構成と主な諸室

1F



① メインアリーナ
② サブアリーナ
③ トレーニングルーム
④ 多目的室
⑤ キッズルーム

数字で見る多目的屋内施設

階 数	高 さ	メインアリーナ観覧席
地上3階建て	約25m	5,000席以上

2F



⑥ 武道場
⑦ メインアリーナ観覧席
⑧ サブアリーナ観覧席





3F



⑨ 弓道・アーチェリー場
⑩ スイート・ラウンジ等エリア
⑪ センサリールーム

センサリールームとは

音や光などの刺激に敏感な方やそのご家族が、刺激を抑えた環境で落ち着いて過ごしながら、イベントの様子を観覧できる部屋です。

※セキュリティ確保のため、管理諸室の一部を図面上で塗りつぶして表示しています